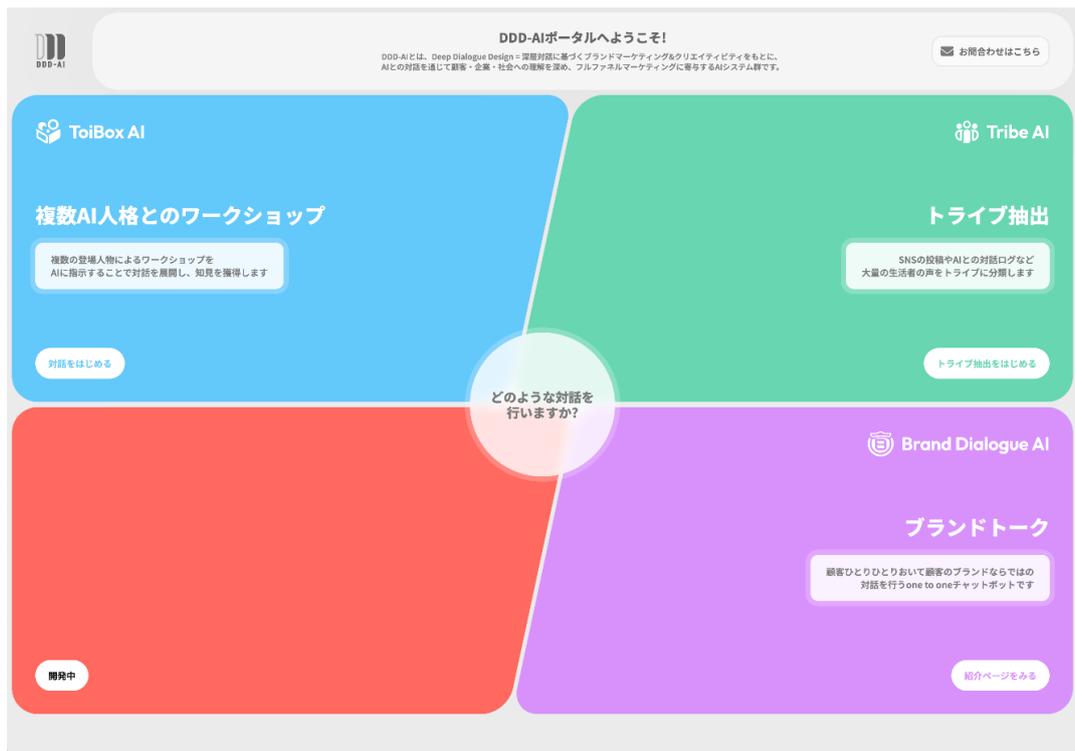




2024年(令和6年)9月11日

大広・大広 WEDO、顧客と AI との対話を通じた マーケティング支援プラットフォーム「DDD-AI」を開発 ～SNS など顧客の声から顧客の姿を明らかにする「TribeAI」など、 生成 AI を活用し企業の顧客価値開発を支援～

株式会社 大広(本社:東京都港区、代表取締役社長:泉恭雄)と、株式会社 大広 WEDO(本社:東京都港区、代表取締役社長:大地伸和)は、生成 AI を活用し、SNS など顧客の声から顧客の姿を明らかにするなど、顧客や AI との「対話」を通じて企業のマーケティング支援を行うプラットフォーム「DDD-AI(Deep Dialogue Design-AI/ディープダイアログデザイン エーアイ)」を開発したことをお知らせします。



「DDD-AI」は、OpenAI[※]社の ChatGPT などの生成 AI を活用し、企業のマーケティング支援を行う AI ツール群を集約したプラットフォームです。AI&機械学習のスペシャリスト集団である株式会社 Laboro.AI(本社:東京都中央区)の支援で開発しました。

まずは当社グループ社員での利用を開始、クライアント企業へのマーケティング支援に活用してまいります。

※OpenAI とは米サンフランシスコに拠点を構える、AI(人工知能)を研究・展開する企業です。

<上記に関するお問い合わせ> 株式会社 大広 WEDO

〒105-8656 東京都港区芝 2-14-5 TEL:03-4346-7200 MAIL : info_wedo@daiko.co.jp



【参考資料】

「DDD-AI」に含まれるツールは、いずれも「対話」をテーマに設計されています。SNS などの「顧客同士の対話」を AI が分析し顧客の姿を明らかにする「TribeAI」、「顧客と AI の対話」を活性化させ CRM を支援する「BrandDialogueAI」、そして「AI と AI の対話」として AI 同士のワークショップにより新たな価値創出を支援する「ToiBoxAI」です。それぞれ単独でも活用できるほか、連携することでその価値を最大化します。

●TribeAI(トライブ エーアイ)

SNS にあふれる多数の投稿など、「顧客の対話」のデータは世にあふれていますが、テキストデータとして取り扱いが難しく結果として定量的な分析は限界がありました。「TribeAI」は様々な声のデータを解析し、ブランド・商品にまつわる価値観の塊(トライブ)に分類、顧客の姿を明らかにする AI ツールです。

このツールは、ソーシャルリスニングのまったく新しい手法になるだけでなく、様々な「顧客の声」データにも活用することができ、顧客理解の新しいアプローチとなります。

例えば、ヘアケア商材のターゲット分析のために本 AI を活用すると、SNS の声から僅かな時間で 5 つのトライブに分類し、詳細を分析が出力されました(画像)。

Tribe AIによる出力イメージ

	カラーダメージケア探究層 (9.4%)	乾燥・紫外線ケア探究層 (45.3%)	美髪探究層 (18.0%)	髪のパサつき探究層 (14.8%)	肌ケア探究層 (12.5%)
髪への興味関心	髪の健康や美しさを追求しており、特にカラーリング後のケアやうねり・くせ毛のケア、シリコンフリーのトリートメント、髪質改善などに関心が高いです。例えば、「◎◎◎」や「▼▼▼」、「■●■」など、具体的な製品に言及しているユーザーがいます。これらの製品は、髪の特長の悩みに対応するために選ばれており、髪の健康と美しさを保つための意識の高さを示しています。	髪の健康や美しさを追求する関心が高く、特に髪の乾燥やパサつき、紫外線からの保護、髪質改善、艶出しに関心を持っています。例えば、「△△△」や「◎◎◎」に興味を示しており、これらは髪の潤いやサラサラ感を指す製品。また、紫外線から髪を守りたい、髪の集中保湿や頭皮ケアに関心があるという特徴があります。これらから髪の健康と美しさを追求していることがわかります。	髪のハリや艶の髪とのまわり、髪質改善、ヘアカラーの色持ち、ダメージ、パサつきなど、髪の健康と美しさに関する多岐にわたる点に興味を持っています。特に、髪のハリを重視するユーザーや、サラサラのストレートヘアを目指すユーザー、カラーパーマによるダメージやパサつきに悩むユーザーなどがいます。また、製品の香りや仕上がり、パッケージの可愛らしさにも注目しており、ヘアケア製品選びにおいてこれらの要素を重視していることが伺えます。	髪の毛の健康や見た目に対する関心が高く、特に「◎◎◎」という製品に関する言及が多いことから、髪のハリや艶、そして髪の毛のまわりや乾燥に対する悩みを解決する製品に特に関心があると推察されます。また、自分に合った髪質を持つユーザーもおり、自分らしさを表現するために色を変えるなど、見た目の変化を楽しむ意欲も見られます。	髪の質改善、頭皮ケア、ダメージヘアのケア、サラサラな髪の仕上げ、髪のツヤやうねりなどに興味を持っています。例えば、「◎◎◎」シャンプーによる髪のツルツル質感、セルブカラーによるダメージケア、頭皮のケア製品への関心、サラサラ感やストレートヘアを楽しむための製品選びなどが挙げられます。髪の健康と美しさを追求し、自分に合った製品を見つけることに喜びを感じていることがわかります。
ヘアケア悩み	くせ毛による広がり、カラーリング後の髪のケア、シリコンフリーのトリートメントを求めるなど、様々なヘアケアに対する関心を持っています。例えば、くせ毛に悩むユーザーは「◎◎◎」を試し、髪の広がりが落ち着いたと報告しています。	髪の乾燥やパサつき、紫外線によるダメージ、髪質の悪化などに悩んでいます。具体的なには「△△△」を使ってみたいという投稿や、紫外線から髪を守りたいという意見があります。	髪のハリやまわりに関する悩み、髪質改善、ヘアカラーの色持ちやダメージ、パサつきなどに悩みを持っています。例えば、髪毛矯正後のパサつき、カラーパーマによるダメージ、髪のボリュームや広がり、肌のシワや乾燥、毛穴の悩みなど、外見だけでなく内面からも輝きたいという願望が感じられます。	髪の乾燥やパサつき、静電気、白髪の増えなどが挙げられます。これらへの悩みに対して、ユーザーは「◎◎◎」のような製品を使用して解決策を見出し、製品の使用感や効果(髪がしなやかになる、ドライヤー後のパサつきが軽減)に満足している様子が見られます。	髪のダメージ、頭皮の悩み、髪のゆがみやうねり、乾燥肌や乾燥肌による髪への影響などに悩むユーザーがいます。例えば、セルブカラーによる髪へのダメージ、季節の変わり目によるダメージを受けやすい髪、頭皮ケアの重要性をふまけたいというユーザーもおり、頭皮ケアや乾燥肌ケアの製品選びなどが挙げられます。
その他特徴	年代は20代後半から30代前半が多いと推測されます。これは、美容や健康、キャリア形成に関心が高いことや、転職活動中のユーザーがいることから推測されます。	年代は20代から40代前半と推測されます。これは、子供がいる母親や、20代から30代前半の女性と推測されるユーザーの存在から推測されます。	20代から40代の女性が多いと推測されます。新社会人やアラサー、アラフォーのママなど、様々なライフステージの女性が含まれており、それぞれの生活環境やニーズに合わせたヘアケアに関心を持っています。	年代は20代後半から40代前半と推測されます。これは、ヘアケア製品に対する意識の高さや、子供がいるユーザーの存在、お洒落や趣味、趣味に対する投資目的から、幅広い年齢層が含まれていることが示唆されるためです。	年代は20代後半から30代前半が中心です。これは、セルフカラーやヘアケア製品としての普及から推測されます。
	日常のルーティーンは、新しいヘアケア製品を試したり、キャンペーンに参加したり、趣味の活動に時間を費やすこと	日常のルーティーンは、家族との時間を大切にし、美容や健康に関する情報をSNSで共有すること	日常のルーティーンは、美的なヘアケア製品やサービスを求め、その経験や感想をSNSで共有すること	日常のルーティーンとしては、ヘアケア製品の活用、食生活やお酒の楽しみ、趣味への時間の割くこと	日常のルーティーンは、美容製品の試用、SNSでの情報交換、家族との時間を過ごすこと

●BrandDialogueAI(ブランドダイアログ エーアイ)

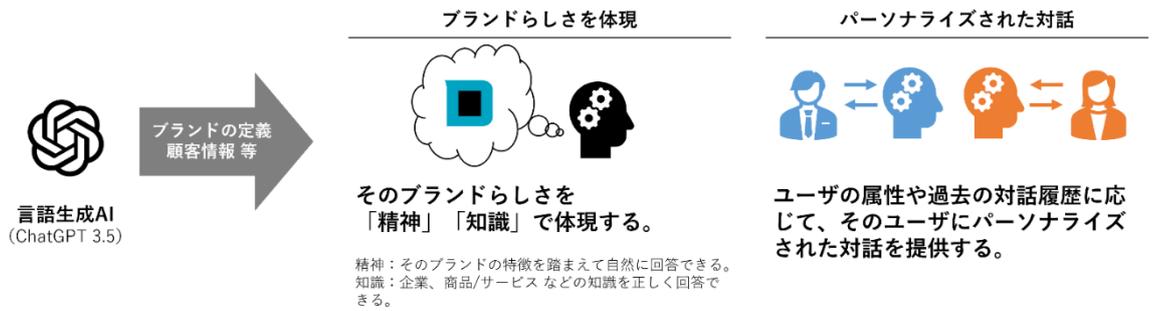
「BrandDialogueAI」は、ChatGPT にブランド人格を付与し、各企業が保有する顧客データや商品データ等を基にしたダイナミックプロンプト*技術を通じて、各顧客と One to One の対話を実施することができる AI チャットボットです。

このツールは、従来のチャットボットとは一線を画し「顧客との深い対話」を実現することができます。

※ダイナミックプロンプトは対話内容に応じて瞬時にプロンプトを入れ替える独自技術です。(特許出願中)

<上記に関するお問い合わせ> 株式会社 大広 WEDO

〒105-8656 東京都港区芝 2-14-5 TEL:03-4346-7200 MAIL : info_wedo@daiko.co.jp



●ToiBoxAI(トイボックス エーアイ)

「ToiBoxAI」は、特定のテーマに対して AI 同士のワークショップを行わせるツールです。議論が最も活発になる人格の組み合わせを AI 自身が考えることで、新たな発見やアイデアを高速に得るためのサポートとして機能します。

「DDD-AI」の特徴は、「顧客との対話」をマーケティングに活用する視点です。大量の声を収集し、ここから顧客の姿を分析し、新価値発見に活かすこれらのツールを活用し、大広と大広 WEDO は企業のマーケティング活動の全領域を支援してまいります。

【参考情報】

■株式会社 Laboro.AI 会社概要

会社名:株式会社 Laboro.AI(ラボロ エーアイ)

所在地:〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目 11-1

代表者:代表取締役 CEO 椎橋徹夫

代表取締役 COO 兼 CTO 藤原弘将

設立:2016年4月1日

ホームページ: <https://laboro.ai/>

<上記に関するお問い合わせ> 株式会社 大広 WEDO

〒105-8656 東京都港区芝 2-14-5 TEL:03-4346-7200 MAIL : info_wedo@daiko.co.jp